

# 第3回 NEXCO中日本における降雪時の対応に関する検討会

## 議事要旨

1. 日時 令和6年6月24日(月) 15:00~16:55

2. 場所 TKP東京駅カンファレンスセンター8階 ホール8A (WEB併用)

3. 出席者(五十音順、◎は座長)

佐々木 邦明 早稲田大学 理工学術院 教授

佐藤 豊 気象庁大気海洋部 気象リスク対策課 課長

中村 一樹 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター センター長

◎ 藤本 明宏 福井大学 大学院工学研究科 安全社会基盤工学専攻 准教授

オブザーバー 関係機関

4. 議事要旨

(1) 名神高速道路(関ヶ原地区)を対象とした対応策

○第2回検討会 資料3「名神(関ヶ原地区)の大規模滞留事象における課題に対する対応策(案)」への意見等を反映した「対応策」を確認した

(2) 名神高速道路(関ヶ原地区)における通行規制基準等設定の考え方

○第2回検討会 資料4「通行規制基準等設定の考え方(案)」への意見等を反映した「考え方」を確認した

(3) ご意見等

○今回策定した対応方針について、関係機関と調整を図ったうえでタイムラインへの反映をすること

○今後、画像検知技術で降雪強度などを数値化できるとよい

○救出した車両の移動先について、関係者とあらかじめ調整しておくべき

○路面状況の判断は難しい。実運用において、判断に迷わないよう黒路面や白路面のサンプル写真があるとよい

○今後、継続的な基準見直しに向けたデータ蓄積にあつては、スタックが発生しなかった路面状況についても確認していくとよい

○前進配置基準に満たない場合でも、それなりの降雪がある場合も有りうるため、実況降雪による通行止めを確実に対応してほしい

○スタックはいろいろなパターンがある。今後、パターンに応じた対応策を考えておくことが望ましい

以上